



ISSB Update は、国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）の予備的決定を示している。これらの決定の影響を受けるプロジェクトは、[作業計画](#)で見ることができる。

IFRS®サステナビリティ開示基準に関する ISSB の最終的な決定は、IFRS 財団の「[デュー・プロセス・ハンドブック](#)」に示されているとおり正式に書面投票が行われる。

ISSB は、[2023年12月13日から14日](#)にかけてフランクフルトにて会議を行った。

## 関連情報：

- 原文は[こちら](#)
- ISSB ボード会議の要約のオーディオ（ポッドキャスト）は[こちら](#)

## 目次

### 維持及び一貫性がある適用（application）

- [SASB スタンダードの国際的な適用可能性（アジェンダ・ペーパー8）](#)

### タクソノミ

- [IFRS サステナビリティ開示タクソノミ（アジェンダ・ペーパー7）](#)

### 戦略及びガバナンス

- [アジェンダの優先度に関する ISSB の協議（アジェンダ・ペーパー2）](#)

## 維持及び一貫性がある適用（application）

### SASB スタンダードの国際的な適用可能性（アジェンダ・ペーパー8）

ISSB は、2023年12月13日に会議を行い、SASB スタンダードに対する修正を承認した（ratify）。

ISSB は、次のことを決定した。

- 再公開（re-exposure）は必要ない。  
14名のISSBメンバー全員が、この決定に同意した。
- SASB スタンダードに対する修正を承認する（ratify）。  
14名のISSBメンバー全員が、この決定に同意した。
- SASB スタンダード・タクソノミに対して関連する更新を行う。  
14名のISSBメンバー全員が、この決定に同意した。

14名のISSBメンバー全員が、ISSB が、適用されるデュー・プロセスの要求事項に準拠し、修正された SASB スタンダードを公表するために十分な協議及び分析を実施したことに納得したことを確認した。

### 次のステップ

ISSB は、2023年末までに、修正された SASB スタンダードを公表する見込みである。

### IFRS サステナビリティ開示タクソミ (アジェンダ・ペーパー7)

ISSB は、2023 年 12 月 14 日に会議を行い、将来の IFRS サステナビリティ開示タクソミ (将来のタクソミ) について議論した。ISSB は、IFRS サステナビリティ開示タクソミ案に対する利害関係者のフィードバックについて議論された 2023 年 11 月の ISSB ボード会議から生じた将来のタクソミの変更案について、具体的には次のことを議論した。

- a. 特定の記述的開示に関する粒度及びデータの種類を含む、記述的情報をタグ付けするアプローチ
- b. IFRS S1 号「サステナビリティ関連財務情報の開示に関する全般的な要求事項」の要求事項と IFRS S2 号「気候関連開示」の要求事項との間の関係をモデル化するアプローチ
- c. IFRS サステナビリティ開示基準により特定されていない指標及び目標をタグ付けするアプローチ
- d. 分類要素及び要素ラベルを含む、将来のタクソミに対する改善

ISSB は何も決定を求められなかった。

#### 次のステップ

ISSB は、2024 年上半期に書面投票プロセスを開始し、IFRS サステナビリティ開示タクソミを公表する見込みである。

## 戦略及びガバナンス

---

### アジェンダの優先度に関する ISSB の協議 (アジェンダ・ペーパー2)

ISSB は、2023 年 12 月 14 日に会議を行い、情報要請「アジェンダの優先度に関する協議」に関するフィードバックについて議論した。具体的には、ISSB は一般目的財務報告書の利用者からのフィードバックについて議論した。

情報要請は、次のことに関するコメント提出者の見解を求めた。

- a. ISSB の活動の戦略的方向性及びバランス
- b. どのサステナビリティ関連事項 (トピック、産業及び活動を含む。) を優先し、ISSB の作業計画に追加すべきかについて評価するために ISSB が識別した規準の適切性
- c. ISSB の作業計画に追加する可能性がある新たなリサーチ・プロジェクト及び基準設定プロジェクトのリスト案

ISSB は何も決定を求められなかった。

#### 次のステップ

ISSB は、情報要請に関するフィードバックについての議論を継続し、情報要請において挙げられている事項に関する意思決定を行う予定である。